

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)秦野市南矢名2丁目計画 新築工事	階数	地上14F
建設地	秦野市南矢名2丁目2番1の一部ほか	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	650 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年1月 予定	評価の実施日	2025年9月16日
敷地面積	2,286 m ²	作成者	一級建築士事務所(株)IAO竹田設計東京第三事務所
建築面積	849 m ²	確認日	2025年9月16日
延床面積	7,580 m ²	確認者	一級建築士事務所(株)IAO竹田設計東京第三事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.9**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.1**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合	東海大学前駅から徒歩5分の大きい道路に面した場所に学生寮を計画した。	0
Q1 室内環境	専有部分について、断熱等性能等級4としている。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	特になし
Q2 サービス性能	空調・給排水配管の更新対策に配慮し、耐用年数の長い管材を採用している。	
Q3 室外環境(敷地内)		
LR1 エネルギー	断熱等性能等級4、BEI=0.83としている。	
LR2 資源・マテリアル	LGS下地を採用し、躯体と仕上材が容易に分別可能としている。	
LR3 敷地外環境	LCCO ₂ 排出率91%とし、光害抑制にも配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される